

製品名: CD159a ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08231**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	KLRC1
別名	KLRC1; NKG2A; NKG2-A/NKG2-B type II integral membrane protein; CD159 antigen-like family member A; NK cell receptor A; NKG2-A/B-activating NK receptor; CD antigen CD159a
遺伝子 ID	3821.0
SwissProt ID	P26715
免疫原	抗血清はヒト KLRC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

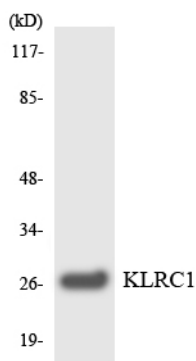
ナチュラルキラー（NK）細胞は、特定の腫瘍細胞やウイルス感染細胞を事前の活性化なしに溶解することができるリンパ球です。ま

た、特異的な体液性免疫および細胞性免疫を調節することもできます。この遺伝子によってコードされているタンパク質は、NK細胞で優先的に発現する膜貫通タンパク質のグループであるキラー細胞レクチン様受容体ファミリー（NKG2ファミリーとも呼ばれる）に属します。このタンパク質ファミリーは、II型膜配向とC型レクチンドメインの存在が特徴です。このタンパク質は、別のファミリーメンバーであるKLRD1/CD94と複合体を形成し、NK細胞におけるMHCクラスI HLA-E分子の認識に関与していることが示されています。NKG2ファミリーメンバーの遺伝子は、12番染色体上にキラー細胞レクチン様受容体遺伝子クラスターを形成します。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [提供機能:NK細胞および一部の細胞傷害性T細胞によるMHCクラスI HLA-E分子の認識のための受容体としての役割を果たす。]、オンライン情報:NKG-2A,類似性:1つのC型レクチンドメインを含む。、サブユニット:CD94とジスルフィド結合したヘテロダイマーを形成できる。、組織特異性:ナチュラルキラー細胞。、

研究分野

抗原処理と提示、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、移植片対宿主病、

画像データ



KLRC1抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。